事例No.	1156
公表年度	R2
団体の属性	指定都市
団体名	宮城県仙台市

事例区分	一般行政

タグ	・人材確保・育成 ・地域運営組織 ・教育・子育て

事例種類	人材育成の取組事例

事例内容・タイトル

林業の担い手となり得る人材の育成

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

人材育成

宮城県　仙台市（林業の担い手となり得る人材の育成）

- 「杜の都」の愛称を持つ本市では、その魅力を向上させるため、本税の活用により森林情報を整理し、森林経営管理制度を活用しながら、森林の整備を促進する「森林づくり」、市が発注する森林整備業務の増大や林業の新規就業者への支援により、林業に関する雇用を推進する「産業づくり」、林業体験・木材利用イベントを開催し、市民と森林・林業との関わりを深める「社会づくり」に取り組んでいる。
- 令和元年度においては、以下の取組により、「産業づくり」につながった。
  - 将来の林業担い手となり得る人材を育成する森林アドバイザー養成講座を開講し，17名修了した。
  - 令和２年度も引き続き講座を実施する。

□　事業内容

1　森林アドバイザー養成講座

- 林業事業体等が講師となり、下刈り、保育間伐、枝打ち、抜き伐りといった森林内での作業実習や、原木しいたけの植菌体験、海岸防災林復旧の視察等により、広く森林・林業に係る知識・技術を取得できる講座を実施。

【事　業　費】853千円（全額譲与税）
【実　　績】講座修了生　17名

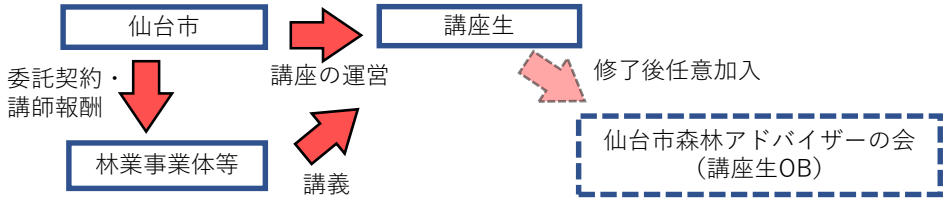

（植林実習の様子）


（海岸防災林復旧の視察の様子）


（間伐実習の様子）


（原木シイタケ植菌体験の様子）

□　事業スキーム



- 前年度１月よりHP及び市政だよりにて講座生を募集し，３月に，講座生を決定する。
- 講座は４月～２月にかけて11回実施し，実習の場所の一部として，本市の市有林を提供している。

□　工夫・留意した点

- 講座の歴代修了生により「仙台市森林アドバイザーの会」を結成し，森林ボランティア活動を行っている。
- 下刈りや間伐といった木材生産作業だけでなく，海岸防災林の視察や，原木しいたけの植菌体験等も行うことで，森林の多面的機能を理解できるようなカリキュラムを実施している。

◇　基礎データ

①令和元年度譲与額	56,635千円
②私有林人工林面積（※１）	5,392ha
③林野率（※２）	56.5%
④人口（※３）	1,082,159人
⑤林業就業者数（※４）	193人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」
※２：「2015農林業センサス」　※３，４：「H27年国勢調査」